

「地域包括ケアを考える ～置かれた場所で咲くために～」

日 平成30年2月11日 日
時 講座時間 14:00～16:30 祝

会場 岡山大学病院内
Junko Fukutake Hall
※ホールには、専用の駐車場はございません。公共交通機関をご利用下さい。

『置かれたところこそが、今のあなたの居場所なのです。「こんなはずじゃなかった」と思うときにも、その状況の中で「咲く」努力をしてほしいのです。』故シスター渡辺和子の著書“置かれた場所で咲きなさい”のワンフレーズです。シスターはがんを患いながらも、最後まで修道女として神に仕え、教育者として教壇に立ちたいと願い、病院から在宅医療へ移行することでシスターらしい人生のクライマックスを迎えられて天に召されました。皆さまの置かれた場所は本来は病院ではなく「自分のお家、住み慣れた地域」であり、自分らしい花を咲かせるために、在宅医療を支えるこれからの地域包括ケアについて学びましょう。

<開会挨拶> 岡山県保健福祉部医療推進課：課長 則安俊昭

第一部 特別講演 14:00～15:00

<座長> 岡山大学病院 緩和支援医療科：松岡 順治・高下 典子

「置かれた場所から召される時 ～大祖母渡辺和子の最期の日々～」

森山 ゆり

シスター渡辺和子の最期の日に深くかかわられたご親族に、シスターがどのような人生を歩んでこられたのか、シスターの死生観などを思い出話を交えながらお話しいたします。



第二部 地域包括ケアの取り組み 15:15～16:30

<座長> 岡山県医師会：理事 江澤和彦
岡山大学病院 緩和支援医療科：片山 英樹

「地域包括ケアシステムと在宅医療について」

厚生労働省 医政局地域医療計画課 在宅医療推進室長 松岡 輝昌

「患者さん、ご家族の価値観に寄り添う“在宅医療”」

つばさクリニック：医師 國末 充央

「在宅生活を支える定期巡回サービス」

岡山市定期巡回・随時対応型訪問介護看護連絡協議会：事務局長 佐藤裕子

「在宅生活における訪問看護の役割」

訪問看護ステーション晴：管理者 赤瀬 佳代

<閉会挨拶> 岡山県医師会 副会長：松山 正春